

土岐市とつながり 自分ものびてくワークショップ

TOKI CITY 70th PROJECT NOVITA

のびた

第5回

2025
1/19 SUN
14:00~17:00

@土岐津公民館 ホール(土岐津) 参加者18名

どこまで
のびたかな？
みんなでき
チェックしよう



いよいよアイデア発表！
のびしろだらけのわたしたちが
土岐の未来を楽しめます♪

第5回は、アイデア発表会！各チームが次年度の取組みについて発表・共有しました。発表のルールは、「来年活動が終わった状態」であること。未来を姿を想像することで、来年の自分たちがどうありたいかをイメージしながら考えることができました。

2月2日の70周年記念式典にも登場します！

2025年2月2日(日)に文化プラザで行われる土岐市制70周年記念式典のステージで、のびたの取組みと各チームのアイデアについて発表させていただきますことになりました！当日は各チームの代表者がドキドキワクワクとともに発表します！

今回の話題

地域みっちゃく生活情報誌
「らせる」の取材を受けました！

土岐市制70周年記念事業のワークショップ「のびた」を巻頭特集で紹介してもらえるとのことで、この日のワークショップの合間に撮影・インタビューが行われました。掲載は2025年3月号。完成が楽しみです！



撮影の様子。
どんな仕上がりになるのか
お楽しみに♪



今回のプログラム！

1

はじめに / のび体操っ！

今回はのび体操はなんと「のびた」…！？のびたの得意な体操は「ときげんき体操」！ときげんき体操を知っている子ども達も前に出てきて、みんなで一緒に身体を動かしました。



おいCチームと一緒に 給食をつくろう！食べよう！

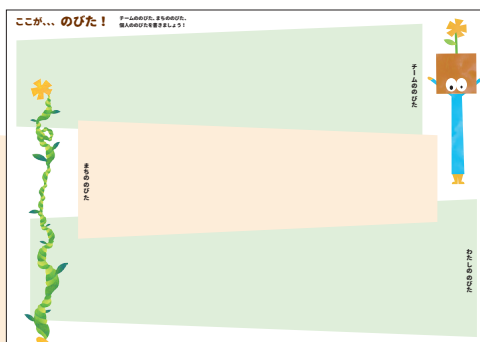
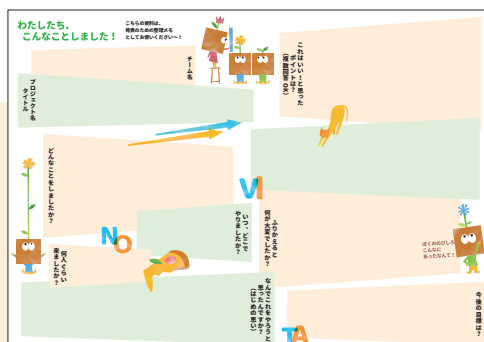
ワークショップ「のびた」のメンバーにも土岐市の給食を食べてもらいたい…！というおいCチームの思いからワークショップ開始前に給食の調理体験会が実現。「なつかしい！」といった声や、「こんなに美味しいとは思ってなかった…」など、いろんな声をいただきました。のびたメンバーにとっても貴重な経験となりました。



2

チームに分かれて発表の準備をしよう

体操で身体を動かしたあとは、各チームにわかれて話し合い。「わたしたち、こんなことしました！」をテーマに、オリジナルシートを使って、次年度すでに活動が終わった状態での発表を仮定して、未来の姿を楽しく考えました。



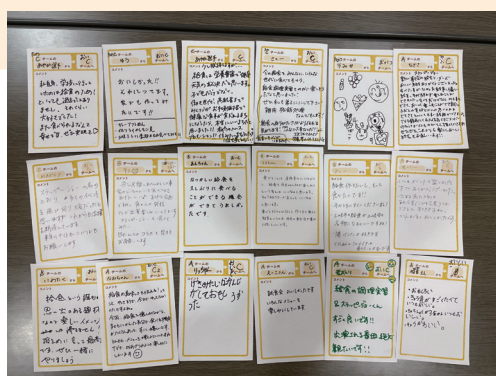
No

「いつどこで開催したか」「何人ぐらい来たか」「ふりかえると大変だったなあと思うことは？」などシートの質問に答えて未来へ先回り！

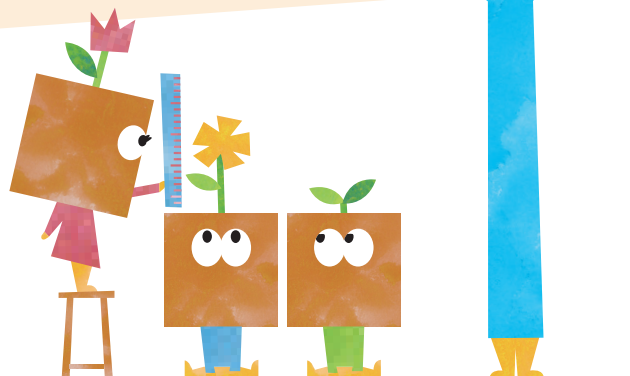
3

アイデアを発表しよう！

準備が終わったら各チームから、「来年度実施した活動について未来の自分たちがプレゼンテーション」という一風変わった形でアイデアを発表。約10分の発表を通じて、聞いているメンバーが「来年度、楽しそう…！」と思えるよう発表の仕方も工夫しました。また、他チームのメンバーからもアドバイスをもらうため、「ここが良かった…！」「わたし、それできるかも」をシートに書いてもらいお互いに渡し合いました。



各メンバーからのアドバイスは、これから実現に向けて話し合いを進めていく際の金言にも…！



A ミュージカルで土岐をつなごう！！



- 劇団名は「つちのゆめ」。かたやの娘が名付けた。
- 11月6日(土)が本番。来年度の制作も決定…!
- 市民皆さんに出てもらいたいと開催したキャストオーディションには予定人数の100枚の応募が!
- 世界初のお茶碗ミュージカル!
- 土岐市全員が見られるように、オンラインを使った視聴環境も用意した。

- 脚本も土岐市民だけではなく、みんなで作り上げてきた。
- みんなの幸せのためにときめく土岐ということで、土岐市のキャラクターも登場!
- みんなで考えて1つのものを作ることが、新たに自分が成長できたポイント。
- 音楽のパワーを皆に伝えるのが目標だったため、歌声や声がなかなか出ない時期があったのはしんどかった。だが、世代を超えた曲をいろいろとアレンジしたりして歌ううちにだんだんと声が出てくるようになり、最後は楽しく歌が歌えた。
- ただ観に来たはずなのに、気づけば声を出して歌っていた、というお客さんも。そして気づけばステージもあがっていた…!



TA

B 過去、現在、未来の土岐をつなごう！！



- 僕たち「時空探検隊」! 10月25日(土)に開催した「土岐川ナイトカーニバル 光と音で土岐川が踊る夜」には3000人も市民が来てくれた。
- 土岐市70年の歴史の中で、昔にぎわっており多くの人が集まって行われていたイベントの中で、大好きでもう一度見たいがなくなってしまったイベントを復活させた。

- 土岐津町のあかりの夕べ、そして駅前で織部祭りと一緒に行われてきた盆踊り、そこに夜のイベントというエッセンスを加えて「ナイトカーニバル」として実現した。
- 夏ごろから灯籠づくりもしていた。
- 「うつわさがし」という大きなイベントに市内外からたくさんのお客さんが来てくれたがその1日目終了後にこのイベントを実施でき多くの方に体験してもらえた。
- 野外で行うイベントだったので天気が心配で3つアプリを入れてチェックしていた。
- 機材トラブルや、楽しすぎて川原から転げちゃった人がいたので来年に活かしたい。



C-1 たのC!で土岐をつなごう!



- 「ありがとう券」という独自の仕組みが特徴。
- 他のイベントに便乗したり、定期的な月1イベントを開催してきた。キーワードは「子どもたち」「夢」「土岐愛」。子どもたちと後世に楽しさを残してみたいと、大人が全力で楽しむ姿を見せた。やりたいことを活かし、最後はマルシェイベントという形で1年の集大成を迎えた。

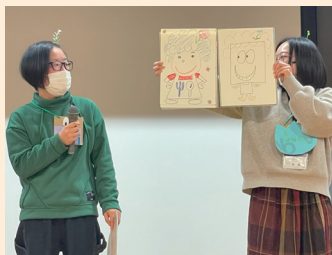
- この活動を始めたのは、未来の土岐市を担う子どもたちの土岐愛を育てたい、そうした心を育てていきたいという思い。その中で、土岐川で活動やマルシェをさせてもらってきたが、活動するたびに場所が綺麗になっていくことで評判がよかった。
- バザーで子どもたちとかにモノを持ってくるもらい、自分たちのいらなくなったモノを友達と交換してもらったりする取り組みもした。それが子ども達がモノへの感謝を考えるきっかけになったり、自分のまちのことを考えるきっかけになった。
- 子ども主体のブースが、ようやく20店舗という目標に到達。今後の目標としては、もっと子ども達同士の横の繋がりを繋げていきたいと思っている。



C-2 おいC！で土岐をつなごう！



○今後は、土岐市の給食をもっともっと広めるためにテレビ出演を目指している。テレビで見かけた際にはぜひ録画してほしい。



- チーム名はスラッピー・ジョー、プロジェクト名は「新しい学校給食のリーダーズ」。
- 主にイベントなどで給食の販売をしていたが、人気がありたくさん声がかかり日程調整が大変だった。
- 毎回約 200 人の方が来てくれていた。
- 食材の寄付がたくさんあり、使いきれなくて家に持ち帰って食べていたら太ってしまった。

- いいと思ったのは、給食の調理実習。家庭でも給食を再現できるよう、今の給食をおじちゃん、おばあちゃんにも食べてもらおうという企画。
- 給食販売だけでは物足りず、2ヶ月ごとに公民館を回り給食の調理実習もしてきた。
- 高校生の女の子や男の子たちもたくさん参加してくれたのが嬉しかった。
- スラッピージョーは、昔出ていた給食の名前。ひき肉を炒めてパンに挟んで食べるというメニュー。いたずらっ子で元気に飛び回る男の子が元のイメージになっています。
- なんとか劇や歌が観れたり、あかりの夕べなどを楽しむことができたが、とにかく作ることが精一杯で余裕はなかったのが反省点。

のびしろ PHOTO



今日が終わりという感じが全くせず、むしろ始まりでしかないですという気持ちです

子どもが土岐でやりたいこと、できること、求められていることを見つめられる場をつくれたらと思います

いろんな方のやりたい！やってみたい！がつながって1つの形になって達成感と安心感でいっぱいです

今までボヤボヤとしていたことが具体的にになってきて、現実感がわいてより楽しみになりました

実際に動き始めるのが楽しみです！他のグループの集大成も見れてワクワク MAX です！

自分たちのチームだけでなく他のチームのイベントも携われて楽しんでいけたら

何とかまとまり、何とか発表できて安心した。これからまだまだ詰めなくては

参加者ののびしろVOICE

終了後から今を見る、という方法が面白く、とても前向きな案が出ると感じました

おいCの給食メニュー、懐かしい気持ちがよみがえって良い企画です

運営メンバーよりコメント

全5回にわたるワークショップ、お疲れさまでした！今日の発表は「未来の自分たちからのプレゼンテーション」という変わったテーマでしたが、皆さんの発表を通じて、次年度の楽しそうな未来の姿が見えました。ここから実現に向けた話し合いと実践がスタートしますが一緒に楽しんで取り組みましょう！

